

若手社員 向け 決算がわかる 財務入門研修

3日/1日
各コース

のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、この度弊社にて若手社員の方々を対象としたスキルアップ研修を開催致します。

ビジネス環境の変化が加速している現在においては、都度判断し、変化に対応していくことが求められています。そして、判断のもととなるのは数字的な裏付けであり、その基礎となる財務に関する知識は、経理部門以外の社会人にとっても必須の知識となりつつあります。

一方で数字アレルギーを持つ方が多いのも事実で、学生時代から数字に関する学びを避けてきた若手社員もいるのではないのでしょうか。

そこで、入門編として実際の業務や事例に紐づけて理解を深めることができる若手社員向けの財務研修プログラムをご用意しました。

財務に関する知識は、所属部署の売上や費用が決算書にどのように影響するのかを理解し、売上拡大やコスト削減・業務効率化のために何ができるかを考えることにもつながります。

ぜひこの機会に若手社員の必須スキルである「財務」を学ぶ本研修をご活用ください。

敬具



こんな方におすすめの研修です

経理初心者の悩み

はじめて経理担当となるが、今まで決算書を見たことがない、あるいは基礎から学び直したい



担当企業に「売上×客数」など具体的な数字を使って提案できるようになりたい、与信管理で財務諸表のどこを見たらよいかわからない

営業担当者の悩み

企画担当者の悩み

新規プロジェクトに参加しているが、収支やキャッシュフローなど、基礎的な数字面からのアプローチに悩んでいる



経費削減策を考えなければならないがそもそも会社の経費構造が理解できず何から手を付けて良いかわからない、与信管理で財務諸表のどこを見たらよいかわからない

管理担当者の悩み

研修の特徴

仕分けなどの事務的、簿記的な内容ではなく、日常業務と決算書とのつながりや財務内容を判断するポイントを中心に学びます

研修のゴール

- 日常の業務が財務諸表とどうつながっているかをイメージできる
- 分析や判断に必要なポイント(客数×客単価、主要経営諸比率など)を理解する
- 財務諸表を見て経営体質や今後の課題を考えることができる

※3日コース:3日に分け各日2.5時間の研修を行います
1日コース:1日で7時間、全3回分の研修を行います

第1回

決算書を知る

日常業務から**貸借対照表、損益計算書の概略**をつかむ

ワーク
ショップ

- 日常業務から簡単な貸借対照表、損益計算書を作る
- ケーススタディ〜2期分の決算を比較してみよう!



第2回

キャッシュフローを学ぶ

お金の流れに関する考え方 (キャッシュフロー) を学ぶ

ワーク
ショップ

- 簡単なキャッシュフロー計算書を作ってみよう
- ケーススタディ〜なぜキャッシュフローが重要なのかを考える

第3回

経営指標を学ぶ

主要な**経営指標とその意味**を学ぶ

ワーク
ショップ

- ケーススタディ〜良い決算、悪い決算を考える
- ケーススタディ〜あの会社はなぜ儲かっているのか



開催日時

2023年

6月14日(水)開講
各17:00~19:30

3日コース

第1回	6月14日(水)
第2回	7月11日(火)
第3回	8月9日(水)

2023年

9月9日(土)開講
9:00~17:00

1日コース

講師プロフィール

大橋 和哉

平成8年北洋銀行入行。26年間の銀行勤務の中で本部企画・推進部門の他、支店長を含め12年間、法人部門に従事。中小企業から上場企業まで数多くのお客さまを担当し、財務分析や経営支援にも携わる。

平成18年中小企業診断士の資格取得、平成24年社会保険労務士試験合格。人事分野、財務分析に強み。財務研修含めた研修講師を多数実施。

会場は、札幌駅〜大通近郊で開催予定でございます。別途ご連絡いたします。

料金

お一人様 98,000円(税抜)

※お申込み後の返金はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

定員

各部20名

お申込み

受講予定者様が5名までの場合は、URLまたはQRコードからお申込みできます。

<https://forms.office.com/r/HY9jchrBHB>

※受講予定者様が6名以上の場合は、こちらからご連絡させていただきますので、お手数ですが、問い合わせ先の電話・メールにてお申込みご希望の旨ご連絡ください。



お問い合わせ先

株式会社北海道共創パートナーズ (北洋銀行グループ)

代表電話番号 TEL 011-596-7814 ✉ y.muramoto@h-kyoso.co.jp (担当:村本)